

# 日本在宅医学会 第2回地域フォーラム

## みんなで支える在宅医療

～多職種協働で地域力をたかめよう～

in 岡山

### プログラム・抄録集



日時 平成29年4月15日土・16日日

会場 岡山コンベンションセンター

〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町14番1号 TEL 086-214-1000(代)

大会長／医療法人ザイタック ももたろう往診クリニック 理事長・院長 小森栄作  
副大会長／医療法人つばさ つばさクリニック 理事長 中村幸伸

## 講演

# これからの エンドオブライフケア ～がん、認知症、死ぬまでハッピー！～

日時 ■ 2017年4月15日(土) 10:00～11:30

会場 ■ コンベンションホール西

在宅医として数多くの患者さんに接するなかで、「がん」、「認知症」のみならず、「老い」「胃ろう」から「平穏死」まで、さまざまな切り口で数多くの著書を出してこられた長尾和宏先生に登壇いただきます。人生の終末期を迎える患者さんが最後までハッピーに過ごせる秘訣をお話しいただきます。

## 座長

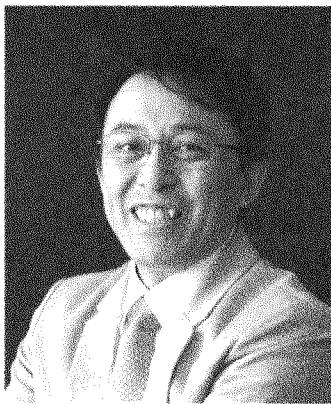
まつおか じゅんじ  
**松岡 順治**

岡山大学大学院保健学研究科  
岡山大学病院 緩和支持医療科



岡山大学大学院卒業 外科学専攻  
米国南カリフォルニア医科大学 南フロリダ大学留学  
岡山大学第一外科 消化器外科・乳腺内分泌外科専攻  
岡山大学病院講師  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 緩和医療学講座 教授  
岡山大学大学院保健学研究科 教授 現在に至る  
岡山大学病院 緩和支持医療科 診療科長 現在に至る

日本外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医  
日本乳癌学会専門医・指導医  
日本緩和医療学会暫定指導医 日本癌治療学会癌治療認定医



ながお かずひろ  
**長尾 和宏**

医療法人社団 裕和会 長尾クリニック

東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで“人を診る”総合診療を目指す。「平穀死・10の条件」、「胃ろうという選択、しない選択」はいずれもベストセラー、他著書多数。医学書「スーパー総合医叢書」全10巻の総編集など。日本慢性期医療協会 理事、日本ホスピス在宅ケア研究会 理事。関西国際大学 客員教授。医学博士。

## これからのエンドオブライフケア ～がん、認知症、死ぬまでハッピー！～

人生の最終段階（以下、終末期と略）の医療に関するガイドラインが各医学会から続々と発表されている。しかし医療現場ではまだうまく運用されていない。医療技術の進歩に従い、どこからが終末期なのか年々よく分からなくなっているからだ。がん治療においても画期的な効果を発揮する新薬が続々と登場し、奇跡のような復活を遂げる人が稀ではない。また臓器不全症においても人工透析をはじめ人工呼吸、人工栄養などの医療技術の発達がめまぐるしい。老衰や認知症の人への本人が望まない人工栄養も決して減っていない。そんななか「良き死」に寄り添える医療が今、国民から強く求められている。

私はこの数年間「平穀死」と題する書籍を何冊か書いてきた。「平穀死」とは自然死、尊厳死と同義である。マスコミはよく尊厳死と安楽死を混同して誤報しているが、両者は別物である。「死」を敗北と捉え忌み嫌うものとして扱っている限り、多死社会には対応できない。「平穀死」にはがんでも認知症でも終末期以降は「枯れる」ことを見守る勇気が必要である。たとえば最期の10日間の輸液量を考えてみよう。1日2ℓの輸液を最期まで続ける医療と差し控える医療とでは総輸液量が20ℓ違ってくる。最期まで続けるとどんな病態であれ必ず心不全や肺水腫、胸水・腹水で苦しむことになる。

ユネスコが謳う生命倫理の原則とは「本人意思の尊重」である。しかし家族の権限が大きい日本においては課題が多い。家族の意思が本人のそれとは真逆になる場合が少なくない。本人の意思がリビングウイルや事前指示書として文書で表明されてもそれらが法的に担保されていないので家族に覆えされてしまうことがある。一方、同じアジアの国である台湾では2000年に、韓国では2016年にリビングウイルの法的担保がなされた。

近年、認知症などで本人の意思が不明なケースが増加している。家族や医師が胃ろう造設を決めている。英国ではそんな場合は周囲の人がベストインタレストを推定しそれを法的に有効と認めるというMental capacity actという法律を2005年に定めている。一方、日本では本人が文書で意思表示していてもそれが叶わないことがある。しかしそんな日本にもACPという概念が普及し、意思決定プロセスが重視されつつある。本講演が、がんでも認知症でも死ぬまでハッピーに暮らせる街づくりのヒントになれば幸いである。